

資料1 海上公園の概要

(1) 海上公園のあゆみ

年 月	主な出来事	開園状況
昭和45年12月	「東京都海上公園構想」策定・公表（昭和46年1月）	
昭和47年度	海上公園事業開始	
昭和50年10月	東京都海上公園条例の施行	
昭和50年12月		12公園の開園
昭和52年10月	東京都海上公園審議会答申 「海上公園の管理運営のあり方について」	
昭和53年4月		東京港野鳥公園開園
昭和56年4月	東京都海上公園審議会答申 「今後の海上公園のあり方について」	
平成元年1月		葛西海浜公園開園
平成8年4月		シンボルプロムナード公園 他3公園開園
平成10年4月	利用料金制の導入、前面管理委託の開始	
平成14年2月	東京都海上公園審議会答申 「今後の海上公園のあり方について」	
平成15年2月	「『新たな海上公園』への取り組み」策定	42公園を開園中

(2) 海上公園の種類

東京都海上公園条例の第3条に海上公園の種類を規定している。

海浜公園 水域の自然環境の保全及び回復を図るとともに、水に親しむ場所として都民の利用に供するものである。

〔主な公園〕お台場海浜公園、若洲海浜公園、葛西海浜公園

ふ頭公園 ふ頭内の環境を図るとともに、港の景観に親しむ場所として都民の利用に供するものである。

〔主な公園〕晴海ふ頭公園、竹芝ふ頭公園、青海南ふ頭公園

緑道公園 臨海地域における自然環境の回復を図るとともに、緑に親しむ場所として都民の利用に供し、あわせて海上公園の一体的利用を促進するものである。

〔主な公園〕京浜運河緑道公園、辰巳の森緑道公園

「新たな海上公園」への取り組み

(3) 東京都海上公園構想

昭和45年、東京湾の汚染状況を視察した知事の発案で始まったこの構想は、同年8月に全庁的な検討が行われ、12月策定、翌年1月に公表した。

以下に、「東京都海上公園構想」の基本的な考え方を抜粋する。

まえがき

東京の街は、都民が自らの街として愛着を持ち得る住みよく美しい街でなければならない。そのためには、澄んだ空気、深い緑、青い水面などの自然環境の保全と回復を図り、都民が明日への活力を養えるようなうまいおいとこいを与えるための施設が必要である。

しかし、現在都民は、深刻な公害や都市過密の中での生活を余儀なくされているが、これら限界を超えた環境破壊の現況にあって、東京の東南部に位置し、区部のほぼ三分の一の面積を有する葛西沖から羽田沖までの海域は、都民と自然とのふれ合いの場として利用し、保全する配慮がなければならない。

この構想はこのような認識と反省のもとに、従来計画されている近隣公園のほかに、都民のための海上公園を体系的に整備しようとしてとりまとめたものである。

海上公園の基本的考え方

(1) 海の都民への開放は、葛西沖から羽田沖までの海面全域にわたる一体的な構想のもとにすすめる。

ア 葛西沖など残された海岸や水面は、都民が海に親しみ、明日への活力を養えるよう計画的に保全する。

イ 埋立地には、都民が自然に親しみレジャーやスポーツを楽しむ場を積極的に確保する。

ウ 港のエリアを都民にとって魅力的で親しみやすいきれいな場として整備する。

(2) 海 - 海浜(港) - 陸上と続く一連のレクリエーションスペースの中で、青少年や老人、婦人など都民のさまざまなレクリエーション活動が有意義に行われるよう施設は効率的、重層的に組み合わせ配置する。

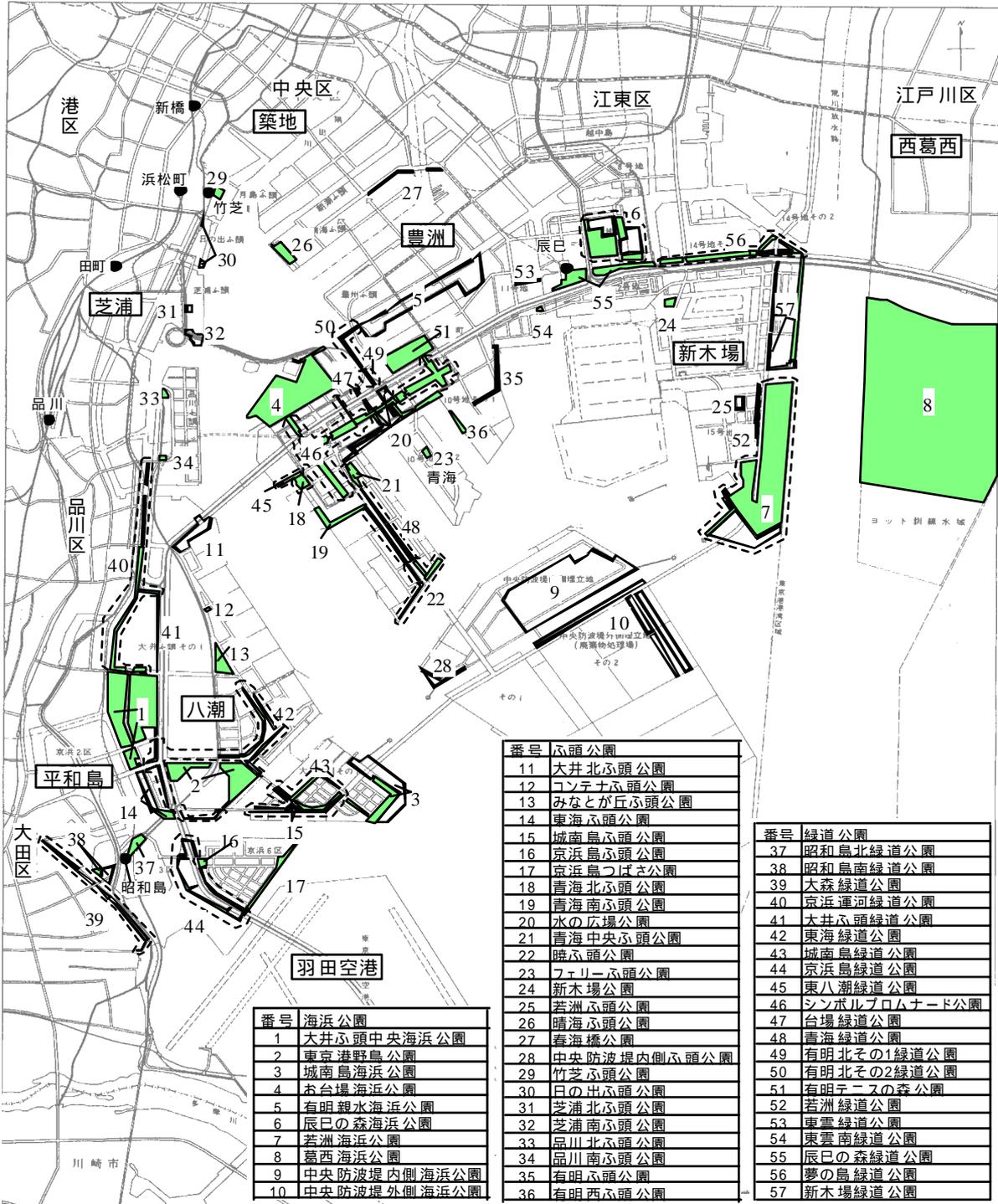
(3) これらの具体化にあたっては、都民の参加を得てよりユニークなアイデアを投入するとともに、公園施設の運営管理には、都民の知識、経験を積極的に活用する。

(原文からの抜書き)



(4) 海上公園の位置

(平成15年2月現在、42公園開園済み)



番号	海浜公園
1	大井ふ頭中央海浜公園
2	東京港野島公園
3	城南島海浜公園
4	お台場海浜公園
5	有明親水海浜公園
6	辰巳の森海浜公園
7	若洲海浜公園
8	葛西海浜公園
9	中央防波堤内側海浜公園
10	中央防波堤外側海浜公園

番号	ふ頭公園
11	大井北ふ頭公園
12	コンテナふ頭公園
13	みなとが丘ふ頭公園
14	東海ふ頭公園
15	城南島ふ頭公園
16	京浜島ふ頭公園
17	京浜島つばさ公園
18	青海北ふ頭公園
19	青海南ふ頭公園
20	水の広場公園
21	青海中央ふ頭公園
22	晴海ふ頭公園
23	フェリーふ頭公園
24	新木場公園
25	若洲ふ頭公園
26	晴海ふ頭公園
27	春海橋公園
28	中央防波堤内側ふ頭公園
29	竹芝ふ頭公園
30	日の出ふ頭公園
31	芝浦北ふ頭公園
32	芝浦南ふ頭公園
33	品川北ふ頭公園
34	品川南ふ頭公園
35	有明ふ頭公園
36	有明西ふ頭公園

番号	緑道公園
37	昭和島北緑道公園
38	昭和島南緑道公園
39	大森緑道公園
40	京浜運河緑道公園
41	大井ふ頭緑道公園
42	東海緑道公園
43	城南島緑道公園
44	京浜島緑道公園
45	東八潮緑道公園
46	シンボルプロムナード公園
47	台場緑道公園
48	青海緑道公園
49	有明北その1緑道公園
50	有明北その2緑道公園
51	有明テニスの森公園
52	若洲緑道公園
53	東雲緑道公園
54	東雲南緑道公園
55	辰巳の森緑道公園
56	夢の島緑道公園
57	新木場緑道公園

海上公園(開園済み)
 海上公園(計画)
 鉄道駅等

「新たな海上公園」への取り組み



(5) 海上公園の紹介

本文中の*付数字の海上公園などを紹介

*1 大井ふ頭中央海浜公園(スポーツの森)

野球場、陸上競技場、砂入り人工芝球技場など各種スポーツ施設の整った公園で、昆虫や水生生物などとふれあえる「せせらぎの森」もある。

平成15年1月「しおさいドッグラン」がオープンし、犬のしつけ教室を定期的開催している。

所在地 品川区八潮四丁目1番19号



*2 葛西海浜公園

西なぎさと東なぎさの2つの広い砂浜からなる公園で、東京湾を一望できる西なぎさでは、水遊びをはじめ、「海風の広場」でのスポーツカイトなどが楽しめる。

また、東なぎさは、野鳥が安心して生息できるように、人が入れない自然保護地区になっている。

所在地 江戸川区臨海町六丁目地先



*3 若洲海浜公園

潮風に吹かれながら、アウトドアレジャーが満喫できる若洲海浜公園は、広大な敷地にゴルフ場・キャンプ場・ヨット訓練所・海釣り施設・サイクリング施設・人工磯などバラエティー豊かなレクリエーションゾーンが点在し、子どもから大人まで楽しめる。

所在地 江東区若洲35番地36番地



* 4 城南島海浜公園

手軽にアウトドアレジャーを楽しめる公園、キャンプ場 20 区画、オートキャンプ場 22 区画が整備され、家族でキャンプやバーベキューが楽しめる。

平成 14 年 4 月にオープンした人工砂浜からは、東京港を往来する客船やコンテナ船や上空には、ジェット旅客機の迫力ある機影が迫る。

所在地 大田区城南島四丁目 2 番 2 号



* 5 お台場海浜公園

幕末の史跡として有名な第三台場（砲台跡）が隣接し、レインボーブリッジやウォーターフロントの未来型都市（臨海副都心）に囲まれた大都会のオアシスになっている。

水辺にそって広がる園内には、ボードウォークや展望デッキなどがあり、今では格好のデートスポットになっている。

所在地 港区台場一丁目 4 番 1 号

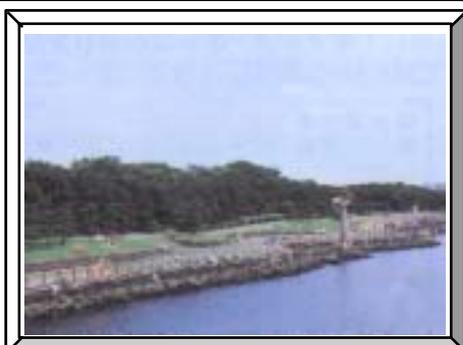


* 6 大井ふ頭中央海浜公園（なぎさの森）

豊かな緑と水辺に親しめる園内には、野鳥の観察小屋があり、陸に住む鳥、海辺に住む鳥を見ることができ、格好のバードウォッチングのポイントになっている。

また「しおじ磯」は、ハゼ釣りやでにぎわい、カニやイソギンチャクなどの水生生物も観察できる。

所在地 品川区八潮四丁目 2 番 1 号



* 7 竹芝ふ頭公園

竹芝棧橋の客船ターミナルに隣接し、1階は広場、2階はプロムナードデッキの2層構造になっている。

2階のボードウォークからは、大型客船や出入港する船の奥には、レインボーブリッジを眺めることができる。

所在地 港区海岸一丁目



* 8 中央防波堤内側埋立地（海上公園予定地）

23区から排出されるごみの処分場として、昭和48年から同61年まで使用されてきた。

現在は、晴海・豊洲地区及び有明北地区の建設発生土仮置場などとして使用している。

平成14年4月に開通した臨海トンネルにより、城南島方面からのアクセスが向上した。

所在地 江東区青海二丁目地先



* 9 有明親水海浜公園（仮称）予定地

有明親水海浜公園（仮称）を含む臨海副都心有明北地区の開発は、「水と緑豊かなうまいのある新しいまち」づくりを行うこととしている。当公園の整備にあたっては、干潟機能を持った緩傾斜護岸や汐入など海の生物にふれあえる水辺空間を計画している。

所在地 江東区有明



*10 東京港野鳥公園

東京港の埋立地に東京の自然環境を再現してつくられたのが東京港野鳥公園では、干潟、ヨシ原、潮入りの池、淡水池などがあり、オナガガモ、カワセミ、セイタカシギをはじめとする約200種類の野鳥が確認されている。

また、定期的に行われている観察会では、野鳥に関する説明を受けられる。

所在地 大田区東海三丁目1番



*11 シンボルプロムナード公園

夕暮れ時は、ライトアップされた遊歩道がロマンチックで、春から秋にかけてはワイルドフラワーのお花畑が広がり、訪れた人々を楽しませてくれる。

また、フランスから贈られた「自由の炎」像をはじめとした屋外彫刻が点在する芸術性の高い公園である。

所在地 港区台場、江東区青海・有明



*12 若洲ゴルフリンクス

都心に一番近いパブリックゴルフ場で、海に向かってのショットは最高の気分・・・海のブルー、芝のグリーンが鮮やかである。

また、ヨット訓練所が隣接し、一般向けヨット教室に加え、ジュニア向け（小学4年生から中学3年生）にも開催している。

所在地 江東区若洲35番地

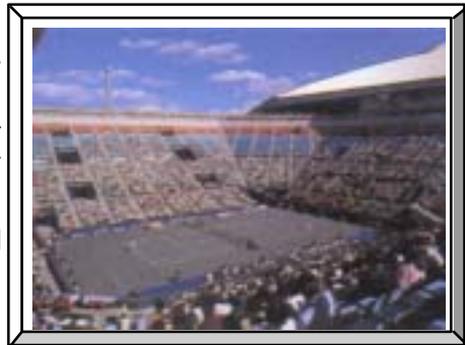


*13 有明テニスの森公園（有明コロシウム）

緑の木立の向こうからボールを打つ音が聞こえる、テニス愛好者あこがれの公園である。

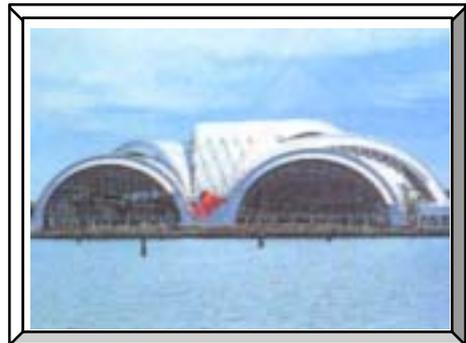
広大な敷地には、テニスの国際試合をはじめ、各種スポーツイベントなどが行われる「有明コロシウム」、48面のテニスコート、芝生広場などがある。テニスコートは時間単位で、初心者でも気軽に利用できる。

所在地 江東区有明二丁目2番22号



*14 辰巳の森海浜公園（東京辰巳国際水泳場）

パターゴルフやシャッフルボード、フリーテニスなどの安全でレクリエーション性に富む6種類のニュースポーツが楽しめ、用具の貸し出し（有料）があるので気軽にチャレンジできる。



また、国際的な水泳大会も開催される東京辰巳国際水泳場がある。

所在地 江東区辰巳二丁目1番35号

(1) 「民間セクターの進出」について(本文p4)

近年、公共サービスの提供者に、個人や企業などの団体を含むボランティア、NPOなどの「民間セクター」が加わり、活躍している。

災害復興や国際的な会議などのボランティアから、身近なものでは、道路や公園の清掃まで多様な活動があり、海上公園でも、砂浜清掃や植樹の管理などを行っている。

平成12年度の国民生活白書では、「ボランティアとNPOの活動」について以下のよう

にまとめている。

1 増加するボランティア

ボランティア活動の参加率は、昭和58年(1983年)には5人に1人の割合であったが、最近では、3~4人に1人の割合に高まっている。

このようにボランティアが増えているのは、心の豊かさ重視、ゆとりの広まりを背景にして、少子高齢化が進む中で主婦や高齢者を中心に社会参加意識が高まっていることが大きな要因になっている。同時に、NPOと呼ばれるボランティア団体や市民活動団体の活動が社会から評価され、注目を集めるようになり、ボランティア活動やNPOに参加することは、少子高齢化が進展し会社人間意識が後退する中で、国民生活に豊かさをもたらすとも期待されている。

2 ボランティア活動の動機

- (1) 職縁以外にも多様な人間関係を築こうとする人が増えつつあり、好縁による交流を深めるきっかけになる。
- (2) ボランティア活動が生活に有用なサービスを提供できる。
- (3) 地域における暮らしの豊かさを高めることに貢献できる。

3 ボランティア活動を広げるための課題

- (1) 時間のなさ(ボランティア休暇や休職制度の普及)
- (2) 情報不足(行政及びボランティア団体のITなどを活用した積極的な情報提供)
- (3) 心理的要素(体験ボランティアの活用など、長続きする活動の選択)

4 ボランティア活動の基本

ボランティア活動は、基本的に経済的対価を求めない自発的な活動であり、無償の活動が基本となる。

活動にあたっては、法令などのルールに定められた範囲で行われるのが前提である。また、活動は、自ら選択して自発的に行われるため、それによって自己実現が図れるが、それが社会全体にとって便益をもたらすとは限らず、活動が社会で受け入れられ評価されたときに、初めてよい活動であるといえる。

5 NPOへの高まる期待と課題

市民の生活にとって有益な活動を行うNPOが活発に活動し始め、国民生活を豊かにする上で期待が高まっている。NPOでは組織だったボランティア活動が可能になることから、個人のボランティア活動の限界となる活動時間の制約を乗り越えやすく、継続したボランティア活動の実現と専門的知識や技能の蓄積も可能となる。

NPOの伝統が建国以来続いているアメリカでは、市民の支援がNPOを支え、市民とNPOの関係は双方向的であり、市民がボランティアとして時間や労力をNPOに提供し、会費を納めたり寄付を行うことによって、NPOを育成している。

これと比較し日本のNPOは、ボランティア活動や寄付を通じての市民支援は不足しており、事業活動の基盤が脆弱なものが多く、収入基盤が弱いNPOが多数である。

6 ボランティア活動が生活の中でふつうのことになるために

日本では陰徳の美風という意識があり、善行は人知れず行うものと考えられる傾向がある。しかし、ボランティア活動が生活のふつうのひとコマになれば、国民の4人に3人が社会のために役立ちたいと考えているという恵まれた土壌が大きく生きてくる。

経済社会の流れは、規格化、大量化、大型化の方向から、多様化、ソフト化、情報化に変化している。この流れの中で、無数の「窓」が開いているような社会を着実に実現していくために、市民、NPO、企業、行政が力を合わせて前進を始める時が到来している。

平成12年度「国民生活白書 ボランティアが深める好縁（要旨）」を基に編集した。

(2) 「干潟機能を持った緩傾斜護岸・近自然型ブロックを備えた護岸」について(本文 p14)

1 東京港の現状

昔の東京港は、広い干潟やきれいな砂浜の浅瀬といった自然の海岸線があり、海苔やしゃこ、あなごなどの江戸前といわれた海産物がたくさん採れる、豊かな海であった。しかし、現在の東京港は入り組んだ運河などによって形成された閉鎖的な水域となり、都市排水から流入したCODや窒素、リンなどの有機汚染物質が溜まりやすく、水質や底質を悪化させている。

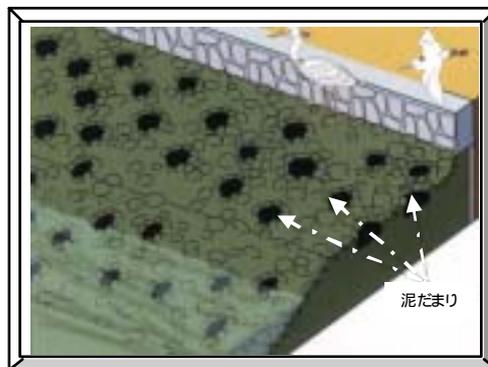
また、湾奥の運河域に位置する内部護岸は、大部分が鋼矢板の直立護岸となり、海岸線の保全を第一として水生生物の生息環境への配慮は十分ではなかった。

このような状況のもとで、東京港第6次改訂港湾計画(平成9年4月告示)では「水質浄化能力を高めるため、緩傾斜護岸などの整備を進めていく」とし、積極的な改善策を提案している。

2 自然環境回復に向けた試み

これからの護岸の整備にあたっては、水生生物の生息環境を改善しつつ、生物の多様化を図り、水質浄化に寄与する視点が必要になっている。

カニなどの甲殻類の卵や幼生は、ハゼなどの小型魚類の餌となり、こうした小型魚類を狙ってスズキ、カレイといった大型魚類や鳥類も集まる。食物連鎖の上で重要な位置にあるカニなどの甲殻類を増やすことは、自然界にとってもっとも重要な食物連鎖を復元再生し、生物の多様化を促す結果となり、東京港の自然を本来あるべき姿に近づけることに役立つようになる。



干潟機能を持った緩傾斜護岸
緩いスロープ状の石積部に泥だまりを設けた干潟をつくり、ゴカイなどの底生生物、ハゼなどの魚類、鳥などの生物をはぐくむ場所をつくる。

3 近自然型ブロックを備えた護岸（カニ護岸）の実験

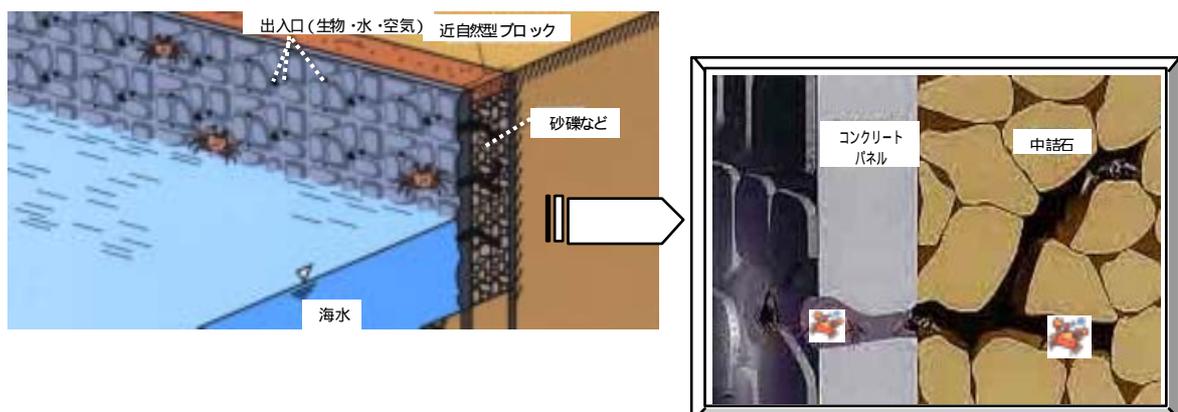
「近自然型ブロック」とは、海の生物や水、空気が内部に出入りできるような隙間を設けた奥行きのあるブロックで、従来の護岸に対して、多様な生物を定着させることにより、周辺水域の生物環境が豊かになることを期待する付帯構造物である。

平成12年度の実験では、周辺の鋼矢板護岸とは比べ物にならないほどのカニが確認され、カニ以外にも多数の水生生物の生息がみられ「近自然型ブロック」の有効性が確認された。

4 カニ護岸の構造と施工

表面のコンクリートブロックから内部の中詰石に通じる貫通孔（この孔を通じてカニがブロックの表面と内部を行き来する）形状を、カニが好むもっとも自然な形、大きさを検討した結果、底辺10cm高さ4cmの三角形に決めた。

また、コンクリートブロック表面の色や粗さ、中詰石の大きさ（この石の隙間にカニが生息する）など、よりカニが生息する自然環境に近い形を検討し、平成13年度末、有明親水海浜公園（仮称）予定地に延長50mほどを施工した。



近自然型ブロックを備えた護岸
海の生物や水、空気が内部に出入りできる隙間を設けたブロックを取り付け、カニの仲間をはじめとする水生生物のすみかをつくる。

5 今後の予定

今後は、生物付着状況からよりよい構造を探っていくとともに、コスト縮減やうち上がったごみなどの清掃といったメンテナンス方法について考え、有明北地区以外での導入も踏まえ、多様なタイプの近自然型ブロックの検討を行う。



「新たな海上公園」への取り組み



(3) テレビドラマなどロケーションへの協力(本文p25)

1 東京都の施策

平成13年4月20日に、東京都におけるロケーション活動の円滑化を図り、映画やテレビドラマなどを通して、東京の持つさまざまな情報、文化、魅力の発信力を高めることを目的とした撮影許可などの総合窓口を「東京ロケーションボックス」として開設した。

2 海上公園の現状

海上公園でも、映画やテレビドラマをはじめ、雑誌、カタログなど数多くの撮影が行われている。平成13年度は約1300件、平成14年度は、4月から9月の半年で730件の撮影許可件数があった。

公園別では、お台場海浜公園での撮影が約4割、次いでシンボルプロムナード公園が約3割弱となっている。続いて、城南島海浜公園、大井ふ頭中央海浜公園、晴海ふ頭公園の順となっている。

また、これ以外にも、主に雑誌などには、掲載記事の資料として、公園の写真を提供している。

分類別撮影許可件数

項目	件数
映画などの撮影	346
映画	7
テレビドラマ	58
その他のテレビ	154
CM	28
ビデオ	59
その他	40
写真などの撮影	384
一般の雑誌	165
専門誌	50
カタログ	97
新聞、その他の書籍、印刷物	33
その他	39
合計	730

(平成14年4月～9月の実績)



「新たな海上公園」への取り組み

海上公園の今後の方針

平成15年2月

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都港湾局臨海開発部海上公園課

代表電話 03 - 5321 - 1111 (都庁内線43 - 440)

ダイヤルイン 03 - 5320 - 5590
